

平成20年度 文化部の活動

文化部の主な活動は、県教育文化講演会への参加と、教育会八幡浜支部の行う教育文化講演会への参加、八幡浜市教職員文化展の開催です。

1 第37回県教育文化講演会

開催期日	平成20年8月7日(木) 10:00～12:00
場 所	宇和島市「JAえひめ南」
演題・講師	「子どもを強くする生活習慣」 東京医科歯科大学名誉教授 藤田紘一郎 先生
講演の概要	講師の先生は、「世界一受けたい授業」に講師として出演され、また、寄生虫博士・カイチュウ博士として著名な先生とあって、大勢の参加者でした。 アトピー・ぜんそく・花粉症等の病気の原因や対処法、免疫力をつける方法等を、ユーモアを交えながら、わかりやすくご講演いただきました。

2 教育会八幡浜支部「教育文化講演会」

開催期日	平成20年11月8日(土) 13:30～
場 所	センチュリーホテルイトー
演題・講師	「伊達宇和島藩のプライド」 伊達博物館長 本田 耕一 先生
講演の概要	1 導 入 ○ 蒸気船(伊達の黒船)模型展示 ○ 民謡「宇和島さんさ」独唱 仙台伊達の「さんさ時雨」に対抗 2 伊達博物館の概要 ○ 職員構成・勤務 ○ 展示・展示の流れ・収納 常設展(年2回) 特別展(年1回) 雛祭り特別展 苦労話 3 伊達宇和島藩のプライド — 宇和島藩には、伊達政宗が見え隠れする。 — ○ 藩祖 秀宗 秀吉 政宗 名前の秀宗が災い 政宗から伊達57騎(山家清兵衛他)と3万両を授かる。 ○ 筆頭家老山家清兵衛伊達騒動と和霊神社の由来 ○ 吉田藩分家の領地争いと高直し ○ 7代藩主宗紀天赦園築造 天赦園の命名は、政宗の酔余口号と題した漢詩の一節 「残軀天所赦」による。 ○ 8代藩主宗城(養子) 名君宗紀は、養子の宗城に6万両を渡す。これで宗城は、10万石の小藩ながら自由に世間を飛び回り、大藩の領主とも交流、幕末の四賢侯として伊達宇和島のプライドを大いに保った。
そ の 他	参加者数 143名

教育文化講演会



3 八幡浜市教職員文化展

平成21年1月17(土)・18日(日)に開催します。市内24校の教職員とともに、OBの先生方にも参加していただきます。自分の趣味による作品だけでなく、校内研修や教科実技研修、PTA研修による作品なども多数出品されます。昨年度は、油絵・水彩画・手工芸・書・写真・陶芸など241点の作品を展示することができました。